

予 算 要 求 資 料

令和7年度3月補正予算

支出科目 款：労働費 項：職業訓練費 目：職業訓練校費

事業名 デジタル外国人材育成支援事業費 (R8分)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

電話番号：058-272-1111(内3667)
 商工労働部 労働雇用課 職業能力開発係
 E-mail : c11367@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 1,910千円 (現計予算額： 0千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳						
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	1,910	955	0	0	0	0	0	955
決定額	1,910	955	0	0	0	0	0	955

2 要求内容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

国際たくみアカデミーでは、県内中小企業等のものづくりの現場でリーダー役を担う人材を育成している。

近年、生産技術科では入校生の過半数を外国人が占めている。これまでの少子化傾向によって今後も中卒・高卒者が減少し続ける一方、外国人の入校生は今後も増加すると予測される。その結果、県内製造業の現場では、同校で知識と技術を身に付けた外国人修了生が中核的役割を担うことになる。このため、これからの中核的役割を担うことになる。このため、これからの中核的役割を担うことになる。このため、これからの中核的役割を担うことになる。

※国際たくみアカデミー生産技術科の入校者数(うち外国人)

R5年度:13名(7名)、R6年度:13名(10名)、R7年度:20名(16名)

(2) 事業内容

【技能習得及び職場定着化のための日本語サポート】

DX化の推進や日本人とチームを組んで製造現場に携わるために必要な専門用語の翻訳等の日本語支援を行う。また、県内中小企業への就職斡旋とともに、企業風習や地域の文化等の学習を通じた定着化・離職防止を支援する。

- ・言語（母国語）の種類：タガログ語、英語
- ・時間：472時間

【日本語検定の合格への支援】

県内企業への就職にあたり、必要な日本語力を身に付けていることを客観的に証明できるよう、日本語検定の合格に向けた講習会を週1回程度実施する。

- ・目標：日本語検定2級の合格
- ・時間：192時間

(3) 県負担・補助率の考え方

県内のづくり産業を支える人材の確保・育成を目的とする事業であり、県が費用を負担する必要がある。

→地域未来交付金活用

(補助対象経費の1／2補助)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	1,148	外国語支援員謝金 95時間×2,000円=190,000円 デジタル外国語支援員謝金 95時間×2,000=190,000円 日本語授業講師謝金 192時間×4,000円=768,000円
旅費	428	外国語支援員費用弁償 岐阜－美濃加茂 24日×2,331円=55,944円 神戸町－美濃加茂 15日×3,293円=49,395円 美濃加茂－美濃加茂 69日× 259円=17,871円 日本語授業講師費用弁償 岐阜－美濃加茂 130日×2,331円=303,030円
消耗品費	54	教材、資料コピー代、紙、マジック、付箋等
役務費	280	電話代、郵送代 30,000 翻訳料 @10,000*25枚=250,000
合計	1,910	

決定額の考え方

4 参考事項

(3) 後年度の財政負担

令和7年度から、岐阜県経済・雇用再生戦略の期限である令和9年度まで3年間実施し、その後は、修了・就職した外国人材及び企業の評価を踏まえてあり方を検討する。

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

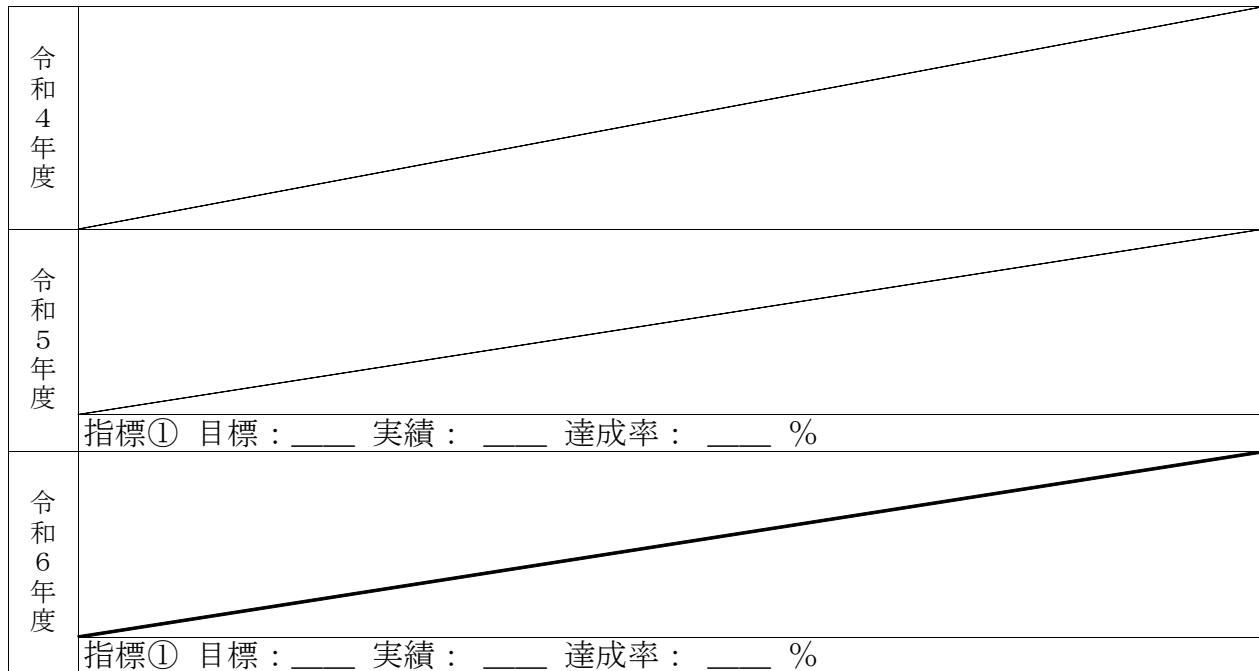
今後も、国際たくみアカデミー職業能力開発短期大学校生産技術科の入校生の半数以上を外国人が占めると想定し、2年間の訓練課程を経て、外国人入校生全員が、ロボットを用いた製造工程の自動化その他DX化を主導し、日本人とチームを組んで生産性や品質の向上に取り組むことができる「デジタル外国人材」として、県内企業へ就職することを目指す。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R6年度)	R5年度 実績	R6年度 目標	R7年度 目標	終期目標 (R9年度)	達成率
ものづくりデジタル外国人材の就職人数	0人			10人	30人	

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）



2 事業の評価と課題

(事業の評価)

- 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価)	
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

- 事業が直面する課題や改善が必要な事項

岐阜県の製造業企業へ就職する際に、理解のある企業への就職が不可欠で、企業へのSNS等での周知と企業訪問による周知を行い、外国人材の受入れを行える受け皿の開拓が課題である

(次年度の方向性)

- 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

デジタル外国人材を育成するためにIoTやIT、メカトロニクス、ロボット操作等を融合して、DXを進め、カリキュラム等の整備の継続を実施する

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	<input type="checkbox"/> 【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	